

11月^するりに澄む

令和7年度 原山中だより

【第7号】令和7年10月31日発行

駅伝お疲れ様！そして全国学調の結果より

校長 遠藤 敏恵



10月21日、第25回さいたま市中学校駅伝競走大会が、荒川総合運動公園特設コースにて行われました。男子キャプテンの臼倉さん、女子キャプテンの濱井さんをはじめ、今年もたくさんの3年生が参加してくれた原山中駅伝部は、この大会をもって活動終了となりました。夏休み前からの長い期間、それもほぼ毎朝、互いに声を掛け合い、励まし合いながら、いつもひたむきに練習に臨んでいた部員のみなさんの姿に、どれほどの原山中生たちが勇気づけられたことか。本当にお疲れ様でした。よく頑張りましたね。

4月に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が返ってきました。今年度は、国語、数学、理科と、生活習慣や学校環境に関する質問紙調査を行いました。対象は3年生のみでしたが、生活習慣等に関する質問紙調査の結果は、全校生徒に共通する傾向もあると思いますのでお知らせします。まず「学校に行くのは楽しいですか」、「友達関係に満足していますか」、「人が困っている時には進んで助けていますか」、「自分と違う意見について考えるのは楽しいですか」、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」等、学校生活に関する質問には、90%以上の生徒が、肯定的な回答をしていました。また「自分にはよいところがあると思いますか」、「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」といった自分自身に関する質問にも、肯定的な回答をする生徒が95%を上回りました。これらの項目に関しては、全国や埼玉県の結果を10%以上も上回っているものもあり、仲間に対して進んで協力したり助け合ったりしながら、自分を肯定的に捉え、学校生活を楽しんでいる生徒が多くいる様子がうかがえました。また、学習、学習時間に関する質問項目では、「わからないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することができている」生徒は、全体の8割を超え、半数以上の生徒が「普段学校の授業以外に2時間以上勉強をしている」と回答し、休日の家庭学習に関する質問には、約3割生徒が「3時間以上」と回答していました。加えて、地域や社会に対しては、8割以上の生徒が「より良くするために何かをしたい」と回答していました。

一方で、読書に関して「好きだ」と回答した生徒が7割近くいたのに対して、「授業以外に、普段、1日どれくらいの時間、読書をしますか」の質問に、およそ7割の生徒が30分未満と回答し、そのうちの3割弱が、「全く読まない」と回答していました。これは「読書は好きだが、その時間がない」ということなのか、「読書は好きだが、読むものがない」のか等、尋ねてみたいところではあります。また、「新聞を読んでいますか」の質問にも、3割弱の生徒が「ほとんど、又は全く読んでいない」と回答しています。「読書活動が学習活動に大きく影響している」という研究結果もあります。読書週間も始まるころですので、たまには思う存分読書にふけるというのもいいのではないですか。これらの結果については、今後、本校における教育指導の充実及び改善に役立ててまいります。是非ご家庭での話題にもあげて頂ければと思います。

